議　事　録

平成27年３月25日定例教育委員会を北島町総合庁舎５階地域交流室において開催した。

１　会議に出席した委員
　１番　久湊　　薫　委　員
　２番　板東　　久男　委員長
　３番　北島　　孝昭　教育長
　４番　巻島　　恵子　委　員
　５番　三好　久美子　委　員
　６番　辻村　　邦雄　委　員

２　会議に欠席した委員
　な　し

３　本会の書記
　事務局局長　小西　昌幸

４　議題
　（１）小中一貫教育（徳島モデル）推進事業について

５　その他

委員長　午後６時00分開会し、あいさつの後、議事録署名者を会議に諮り、次のとおり選任する。
　４番　巻島委員
　５番　三好委員

委員長　それでは、議事に入りたいと思います。議事(１)について事務局からご説明お願いします。

局　長　お手元の資料をご覧ください。「平成27年度『小中一貫教育(徳島モデル)推進事業』事業計画書」、同事業の実施要項、県からの依頼文書、県教委作成の「小中一貫教育『徳島モデル』調査研究事業」というパンフレット、全国知事会「先進政策バンク」のホームページに掲載されている徳島モデルの小中一貫教育「チェーンスクール・パッケージスクール」の記事という内容です。全国知事会ＨＰの資料の文章が分かりやすいので、朗読いたします。事業名称は「小中一貫教育『徳島モデル』調査研究事業」。趣旨は、「少子高齢化社会・人口減少社会においては、学校の統廃合は避けられない状況にある。徳島県教育委員会では、『子どもの数が減少し小規模化する学校を、コストをかけずに存続させ、かつ教育の質を保証する』という課題の解決に向けて、鳴門教育大学との共同研究を行い、『チェーンスクール』と『パッケージスクール』という二つの新しい学校教育のかたちを『徳島モデル』として提案した」。事業内容として、「チェーンスクール（分散型小中一貫教育）　（略）地域に分散する小中学校の人的・物的資源を相互に活用することにより、小規模校の維持や多様な学びを保証することを目的とする」。今、私が朗読したものが大きな趣旨と事業の目的です。チェーンスクールとパッケージスクールという言葉が出てきましたが、パッケージスクールは同一敷地内にある小学校と中学校で進める小中

一貫教育の形態を指し、チェーンスクールは地域に分散している複数小学校と中学校における小中一貫教育を言います。北島町の場合はチェーンスクールになるわけです。３月上旬に希望調査がありまして、北島町は27年度の事業に参加することになりました。１頁目が事業計画書の写しです。調査研究をする地域の概要という個所を朗読します。「北島町の人口は毎年微増しており、数年間は児童生徒数も減少しないと考えているが、国の人口推計によると、10年後には人口は減少に転じ、児童生徒数も減少していくと思われる。今は、毎年起こっている中学１年生の学級崩壊対策が喫緊の課題であり、『学びのかけ橋』プロジェクトの指定を受け、小中連携した対応を始めているが、学力向上、生徒指導、児童生徒数の減少など将来を見据えた施策として、小中一貫教育（徳島モデル）に取り組み、連携教育の定着と９年間連続した教育を目指す」。以上で概略はご理解いただけたと思います。この事業は、１つの学校に20万円の補助金が出る予定なので、各学校での研修費や事務費などに活用できると思います。６月補正で計上しようと考えています。学びのかけ橋事業との整合性を保ちながら、現場の負担をかけずにじょうずに事業に取り組んでいこうと考えています。

教育長　県教委とも相談していますが、中身は「学びのかけ橋」事業と殆ど変わらないということですので、学校現場でもあまり負担にならないようにします。

委員長　今、事務局の説明がありましたが、この事業に関してご意見はありませんか。

委　員　ありません。

委員長　では、小中一貫教育（徳島モデル）推進事業をすすめることに承認を与えます。ほかにありませんか。

委　員　ありません。

委員長　それでは、これで本日の会議を終了します。
全協議終了、午後７時45分閉会を宣する。

以上会議の顛末を記載し、その相違がないことをここに署名します。

平成27年３月25日

書　　記　小西　昌幸
議事録記名　巻島　恵子
議事録記名　三好久美子